

2023年度（令和5年度）事業報告書 （令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した

II-1. 特別企画展（入館者数 41,039人：有料+無料）

入館者		本年度	前年度	増減	備考
一般*	個人	37,942	60,015	▲22,073	友の会員等含む
	団体	198	498	▲300	
学生 (大高中小)	個人	2,599	2,930	▲331	
	団体	300	490	▲190	
計		41,039	63,933	▲22,894	

*上記の入館者数は、前年度跨ぎ展覧会 4月1日～2日（2日間：入館者 2,732人含む）

2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

	特別展示名	会期	会期日数	入館者（人）	
				入館数	日当たり
1	美しき漆 日本と朝鮮の漆工芸	‘23年4月13日～6月18日	58日	9,912	171
2	聖像・仏像・彫像 -柳宗悦が見た「彫刻」	‘23年6月29日～9月3日	58日	7,973	137
3	村田コレクション受贈記念 西洋工芸の美	‘23年9月14日～11月23日	60日	8,741	146
4	2023年度日本民藝館展	‘23年12月10日～12月24日	13日	3,766	290
5	柳宗悦唯一の内弟子 鈴木繁男展 一手と眼の創作	‘24年1月14日～3月20日	57日	7,915	139
開催日数・総入館者数（23年度の年度跨ぎ展覧会は省く）			246日	38,307	156

III. 民藝の普及・振興に関する事業

1. 特別展にあわせて講座を開催。

	記念講演会名等	講師	実施期日	参加人数	運営・会場
1	漆の話	漆工家 伏見真樹	‘23年5月26日 ～9月3日	58	オンライン 配信
	みちのく近世の民間 仏	弘前大学名誉教授 須藤弘 敏	‘23年8月26日	56	本館
2	西洋工芸	多摩美術大学教授 金沢百 枝	‘23年11月11日	66	本館
	鈴木繁男先生の思い 出	作陶家 柴田雅章	‘24年3月16日	70	本館

2. 小・中・高等学校との連携事業による美術館教育などの教育普及活動

美術館における教育普及活動を各学校と連携して実施。2023年度は、小学校2校（桐朋学園小学校 71名、駒場小学校 64名）、中学校2校（横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校高等学校 29名、吉祥女子中学・高等学校 20名）、高等学校1校（橘学苑高等学校 36名）を受け入れる。

3. 博物館実習教育プログラム（博物館実習の受入れ）

学芸員資格の取得を希望する学生に対して、現場での教育実習プログラムを設け、各大学より応募が

あった学生を対象に講義と実習をおこなった。

事業名	実習日数	学校数	人数	教育カリキュラム
博物館実習生の受入	延べ10日間（2023年6月15日～12月27日） 講義3日間、実習7日間	大学 15校	15名	1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業）

4. 国際文化交流事業（国内含む）

- ・韓国サムソン美術館（リウム美術館）で開催された「朝鮮白磁大展」（2023年2月末～5月末）への出品協力を通して、日韓の文化交流に努める。
- ・韓国大使館や韓国国立中央博物館を介しての人的交流をおこなった。
- ・2025年秋にスウェーデン国立美術館で開催される「濱田庄司とウィルヘルム・コーゲ展」のための準備協力をおこなった。
- ・ウィリアム・モリスギャラリー（英国・ロンドン）で開催される展覧会への協力をおこなった。

5. 日本民藝館所蔵品の貸出

- 1) 各地美術館及び他民藝館への所蔵品の貸与及び共同企画への参画を実施した。
 - ・所蔵品の国内外の美術館・企業等への貸出や、共同企画展への参加を通して民藝の普及をおこなった。
- 2) 日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は11ヶ所、出品747点）

会場	展覧会名	貸出作品	点数	会期
大阪中之島美術館	民藝 MINGEI 美は暮らしのなかにある	柳宗悦蒐集品	101	‘23.7/8-9/18
いわき市立美術館	〃	〃	101	‘23.10/28-12/17
東広島市立美術館	〃	〃	101	‘24.2/10-3/24
芹沢銈介美術館	芹沢銈介ののれん展	のれん、壁掛け	5	‘23.9/1-‘24.1/16
福島県立博物館	仕事の仕事をしている仕事 -福島のものづくり民藝-	河井寛次郎作品、芹沢銈介作品、会津本郷焼、三春人形、画像データ等	23	‘23.7/15-9/24
豊田市民芸館	沖縄の美	緑釉燭台、織物等	135	‘23.10/7-12/3
鈴木大拙館	日本民藝館交流協定10周年 記念特別展「だお接と宗悦」	柳宗悦‘書、原稿「美の法門」、白掛鉄絵蓋物等	14	‘23.4/15-11/26
大阪高島屋	柚木沙弥郎と仲間たち	柚木沙弥郎、芹沢銈介、武内晴二郎、鈴木繁男各作品	129	‘23.8/23-9/3
日本橋高島屋			129	‘23.9/6-9/25
米沢市上杉博物館	今泉篤男と美術	バーナード・リーチ、富本憲吉、河井寛次郎、濱田庄司、芹沢銈介、棟方志功等	6	‘23.7/1-8/31
サントリー美術館	激動の時代 幕末明治の絵師たち	群船図、黒船図、泥絵名所図	3	‘23.10/11-12/3

6. 出版などのメディアによる民藝の普及活動への協力

- ・民藝運動の機関誌である雑誌『民藝』（発行：日本民藝協会）への編集協力をおこなった。

- ・ちくま学芸文庫から再版された、『民藝図鑑（第1巻～第3巻）』と『民藝四十年』への編集協力、をおこなった。

7、各地美術館や学校及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会の催事及び民藝館や美術館、大学等への講師（学芸員）派遣を通し、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし普及・推進をおこなった。

8、調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした情報を整理し、展覧会等に活用した。
- ・Web サイトにて展覧会に関わる情報を随時提供した。

9、資料・文献などの保存管理と活用に関する事業

- ・文献資料・図書類のデータベースのデータ更新を継続した。
- ・展覧会の図録『村田コレクション受贈記念 西洋工芸の美』『鈴木繁男 手と眼の創作』を作成・出版した。

IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

① 新作工芸品の公募

日本民藝館で年に一度開かれるもので、伝統的な技術を継承して作られている手仕事の品と、民藝の美を指針とする個人作家の品を全国から公募し、工人（作り手）の育成支援と暮らしに役立つ工芸品の発展や普及を目的に実施した。

② 入選作の展示公開と販売

選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品（準入選作品を含む）の即売を通して作り手を支援し、世の中に優れた新作工芸品を普及に努めた。

③ 出品者を対象にした表彰式・審査講評会の実施

審査委員を交えた講評会を実施して、工人に対して仕事の質や方向性を確認する場を提供し、併せて工人同士の情報交換や親睦を深めることを通じて、工人の育成支援を図った。

2) 日本民藝館展の実施概況

会期 2023年12月10日～12月24日（13日間）
 表彰式・講評会 2023年12月7日（受賞者：館賞1、協会賞1、奨励賞3）
 入館者数 3,766人（入館指定日時予約制）

出品状況（応募・審査状況）

出品分野	出品者数	制作者数	出品点数	審査結果		
				入選	準入選	落選
分野（陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等）	351名	376名	1,431点	538点	436点	457点

V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへ配布。並びに京王線主要駅の駅貼り大型ポスターの掲出。
- ・各特別展のチラシ（案内状）を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員へ配布。

- ・マスメディアを通して展覧会や当館の活動に関する情報を紹介（NHK「日曜美術館」での放映や雑誌等の誌面紹介）。
- ・館 Web サイト（ホームページ）や SNS（フェースブック、インスタグラム）を通しての情報の発信
- ・弊館の歴史やコレクションを紹介する映像資料「日本民藝館物語」（三部作）の視聴提供

VI. 所蔵品等の修復整備

- ・焼締蓋 1 点、ラッシュ座面チェア 10 点

VII. 所蔵品の蒐集（3 点）及び寄贈品（46 点）

蒐集品（購入） ゲートテーブル、スクウェアテーブル、スリップウェア皿 各 1 点
 寄贈品： 柚木沙弥郎作「牛とドッド」1 点、濱田庄司作黒釉面取花生、絵替皿、黍文湯呑各 1 点
 朝鮮海鼠釉茶碗 1 点、レリーフヨハネとマリア 1 点、人物像マダカスカル各 1 点、ガラス絵スペイン
 2 点、吉田小五郎著「キリシタン物語」挿絵資料 1 式、河井寛次郎作流し描皿 1 点、故高松静雄の収
 集した民芸品・民具の一式 22 点、バーナード・リーチ作絵画軸：寿福松竹梅図 1 点、日出団扇出雲塩
 冶 1 柄、団扇各種 4 種 4 柄、団扇香川県 1 種 2 柄、久能団扇鈴木繁男 1 柄、大津絵江戸時代（雷公・
 槍持奴・瓢箪鯨・座頭・鬼の念仏）各 1 点、

VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・防火貯水槽ポンプの交換、本館床下湿気防止・シロアリ防虫対策の実施及び自動火災報知設備工事（非常灯・火災検知器交換含む）の実施を行う。

IX. 役員等に関する事項

2023 年 6 月 23 日 2023 年度第 1 回定時評議員会
 議事事項 ・2022 年度事業報告書及び計算書類等について 等
 2023 年 6 月 8 日 2023 年度第 1 回定時理事会
 議事事項 ・2022 年度事業報告及び計算書類等の承認 等
 2024 年 3 月 22 日 2023 年度第 2 回定時理事会
 議事事項 ・2024 年度事業計画及び収支予算の承認
 ・2024 年度定時評議員会の招集について 等

X. 収益事業

- 1) 日本民藝館展（新作工藝公募展）における入選出作品の委託即売を展示会場内で行った。
- 2) 駐車場の月極車両契約は、京王不動産の委託管理により円滑に運営できた。

- ・2023 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

2024 年 5 月
 公益財団法人 日本民藝館